



2024年5月10日

各 位

会 社 名 OUGホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 橋爪 康至
(コード：8041 東証第一部)
問 合 せ 先 常務執行役員 総合企画グループ担当
中村 耕
(TEL. 06-4804-3031)

「OUGグループ 中期経営計画 2024」の策定について

OUGホールディングス株式会社(代表取締役社長 橋爪 康至)では、当グループで2021年度から2023年度まで実施いたしました「OUGグループ中期経営計画 2021」の結果について取りまとめましたのでご報告いたします。併せて、当グループの2024年度から2026年度までの3年度間を計画期間とする「OUGグループ 中期経営計画 2024」についてグループを取りまとめ策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1 「OUGグループ中期経営計画 2021」の実施結果概要について

収益計画 (億円)	2021/3期 (実績)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (実績)	2024/3期 (計画)(*)	2024/3期 (実績)
売上高	2,983	2,985	3,250	3,300	3,331
営業利益	14	28	39	27	31
経常利益	17	30	42	35	39

(*) 2023年5月9日付「OUGグループ中期経営計画 2021の進捗及び業績目標の一部修正について」にて修正後の計画

経営指標目標 (%)	2021/3期 (実績)	2024/3期 (計画)	2024/3期 (実績)
ROE (自己資本利益率)	5.2	8.0	12.7
ROIC (投下資本利益率)	2.4	5.0	4.0
自己資本比率	31.8	35.0	34.0

本日開示の「OUGグループ中期経営計画 2024」に「OUGグループ中期経営計画 2021」の結果についても記載しておりますので、ご参照ください。

2 本日開示の「OUGグループ中期経営計画 2024」の計画概要について

(添付の「OUGグループ中期経営計画 2024」をご参照ください)

(1) 計画名称

「OUGグループ 中期経営計画 2024」

(2) 計画期間

2024年度(2024年4月)～2026年度(2027年3月期)(3年間)

(3) 基本的な考え方

去る2024年2月8日に公表しました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」で表明しておりますように、当社グループは資金提供者が期待している資本コストを上回る資本収益性を、利益率、資産回転率、財務レバレッジ等の向上を通じ達成するとともに、グループの成長性向上について実現するため、「OUGグループ中期経営計画 2024」を策定し実行してまいります。

(4) 重点施策、取り組む「事業戦略」と「経営基盤の整備・強化」について

OUGグループ行動指針の徹底を図りグループ役職員の行動変容を促し、競争力のある事業を展開

事業戦略	戦略I	鮮魚事業の強化
	戦略II	グループ内連携による商品力強化
	戦略III	関東マーケットの深耕・拡大
	戦略IV	海外事業の拡大
	戦略(共通)	サステナブルな事業活動

経営基盤の 整備・強化	① 財務戦略	⑤品質保証システムの構築
	② 人事戦略	⑥サステナビリティ課題への対応
	③ システム戦略	⑦共通機能の高度化
	④ IR戦略	—

(5) 3年度間の経営目標

収益計画 (億円)	2024/3期 (実績)	2025/3期 (計画)	2026/3期 (計画)	2027/3期 (計画)
売上高	3,331	3,350	3,380	3,410
営業利益	31	37	41	43
経常利益	39	37	41	43

経営指標目標(%)	2024/3期 (実績)	2027/3期 (計画)
ROE(自己資本利益率)	12.7	8.0(8.0%の水準を維持する)
ROIC(投下資本利益率)	4.0	5.0(5.0%の水準を達成する)

(6) 配当方針の見直し(今後の配当方針)について

積極的で予見しやすい配当方法への転換を図るべく、本日2024年5月10日開示の「配当方針の変更に関するお知らせ」でご説明いたしましたので、ご参照ください。

以上

OUGグループ



中期経営計画2024
(2024年4月～2027年3月)

2024年5月10日



OUGホールディングス株式会社

証券コード:8041

- 1.グループ経営体制
- 2.前「中期経営計画2021」(2021年4月～2024年3月)の振り返り
- 3.OUGグループを取り巻く事業環境
- 4.新「中期経営計画2024」(2024年4月～2027年3月)の全体像
- 5.資本コストや株価を意識した経営の実現
- 6.重点施策
- 7.経営基盤の整備・強化
- 8.経営目標数値
- 9.今後の配当方針について

OUGグループ

OUGホールディングス株式会社

水産物荷受事業

株式会社 うおいち

養殖事業

株式会社 兵殖
株式会社 松浦養殖

物流事業

舞洲流通センター 株式会社
株式会社 ディ・ティ・ロジスティックス

水産物小売事業

株式会社 黒門三平

市場外水産物卸売事業

株式会社 ショクリュー

食品加工事業

ダイワサミット 株式会社 株式会社 トウニチ水産
株式会社 ディ・ティ・ネクスト 株式会社 海老将軍

水産物仲卸事業

株式会社 大京
株式会社 タイゲン

保険・リース事業

株式会社 トップ

2. 前「中期経営計画2021」(2021年4月～2024年3月)の振り返り OUGホールディングス

- 2020年から続いた新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、国内外の水産物の流通形態、価格、需給に大きな影響を与えた
- また、2022年2月に勃発した、ロシアによるウクライナ侵攻はエネルギーや原材料等のサプライチェーンに大混乱を招き、水産物の輸入価格の上昇、燃油・配合飼料などの生産資材の価格上昇を引き起こした
- このような経営環境下ではあったが、前「中期経営計画2021」は売上・利益ともに概ね目標値を達成することができた

売上高・営業利益・経常利益

(億円)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (実績)	2024年 3月期 (実績)	目標値 (2024年3月期)
売上高	2,985	3,250	3,331	3,300
営業利益	28	39	31	27
経常利益	30	42	39	35

主な評価

- ◆「OUGグループ行動指針」の浸透が、役職員の意識変革と行動変容につながった
- ◆鮮魚事業において、部署間連携やグループ内連携が深まり、一定の成果を上げた
- ◆関東地区の有望な小売・飲食の業態への販売強化により同地区でのシェアが向上した
- ◆『ハローキティ』とのコラボ展開が消費者へのブランド養殖魚の価値向上を促進させた
- ◆国内の食品加工や輸出事業は、コロナ禍やウクライナ紛争の影響で伸び悩んだ

ROE・ROIC・自己資本比率

(%)	ROE	ROIC	自己資本比率
2024年 3月期 (実績)	12.7	4.0	34.0
目標値 (2024年3月期)	8.0	5.0	35.0

OUGグループを取り巻く事業環境は、大きな変化の途上にある

水産物市場のグローバル化と
国内人口の減少による水産物需要の低迷
(首都圏は一極集中が進み需要増加)



地政学的リスクなどによる脅威の顕在化

・国際的な紛争  ・サイバーセキュリティ 

デジタル技術の活用による
産地と消費地の新たな取組み



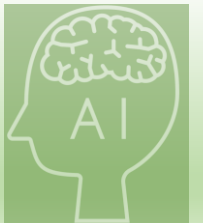
気候変動による地球温暖化の進行と
サステナブルなビジネスへの転換



養殖をはじめとする技術革新の進展
(陸上養殖・スマート漁業)



人手不足解決のカギを握る
AIの積極活用



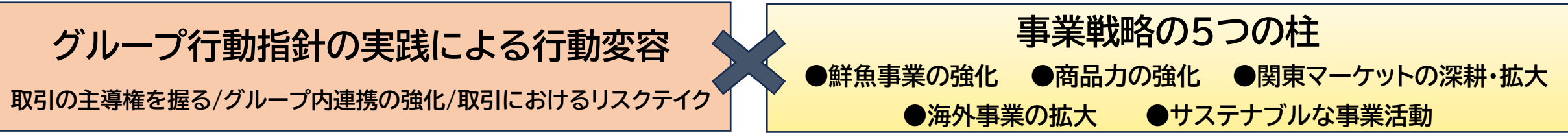
OUGグループ経営理念

「水産物をコアとし、お客様に価値ある商品とサービスを提供することにより、食文化の発展に貢献します」

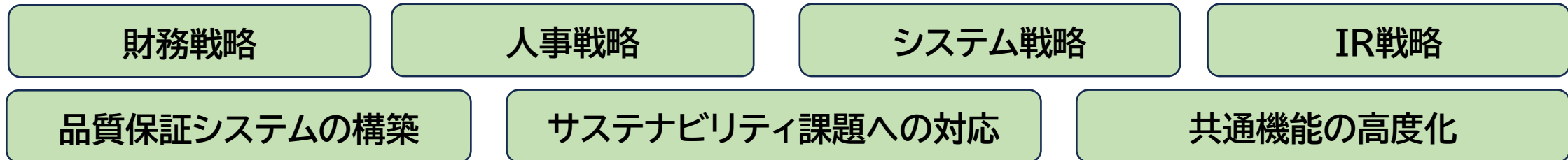
基本的な考え方 **資本コストや株価を意識した経営の実現**

- 資本コストを上回る資本収益性の向上
- グループの成長性向上

①重点施策



②経営基盤の整備・強化



2026年度(最終年度) 経営目標数値	売上高 3,410億円	経常利益 43億円	ROE 8.0%維持	ROIC 5.0%
------------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------------

方針

1. 資本コストを上回る資本収益性を、利益率、資産回転率、財務レバレッジ等の向上を通じ達成する
2. グループの成長性向上について、グループ中期経営計画に落とし込み、その実行を通じ実現していく
3. OUGグループの成長性を絡めた事業活動等を分かりやすく説明するためにIRを強化していく

取組み

1. 業容の拡大と資本収益性の向上

2. 成長投資の実施

- ・養殖事業等へのさらなる投資
- ・市場外水産物卸売事業の営業拠点の見直しと新たな拠点投資による事業拡大、収益性の向上
- ・食品加工事業や海外事業の拡大と収益性向上を図るためのM&A等の検討

3. 事業ポートフォリオの見直し

- ・経営資源の選択と集中による資本効率の向上
- ・不採算事業からの撤退や成長分野への投資

4. 政策保有株式の縮減

5. グループ運転資金の圧縮

- ・CMS導入による資金効率の向上

6. 人材育成および社内環境整備の充実

- ・多様性を意識した研修制度等の充実
- ・安心して働くことができる社内環境整備

7. 株主還元の充実

- ・積極的で予見しやすい配当方法への転換
- ・株主優待制度の充実(株主様とのリレーション深化)

事業戦略

OUGグループ行動指針を実践することにより行動変容を促し
グループ内連携をより強めることで競争力のある事業を展開していく

グループ行動指針

5つの柱

I. 鮮魚事業の強化

- ・ 養殖事業者との取組み拡大
- ・ 加工機能/販売機能の高度化
- ・ チルド加工品/冷凍加工品の提案力および対応力の強化

II. グループ内連携による商品力強化

- ・ オリジナル製品の開発/販売
- ・ ニーズに対応する加工機能の強化
- ・ 商品力強化による市場開拓
- ・ 商品別の販売力強化

III. 関東マーケットの深耕・拡大

- ・ 商品力/販売力の強化
- ・ 商物分離型の営業拠点/物流拠点の整備

IV. 海外事業の拡大

- ・ 販売チャネルの拡大/取扱品目の拡充

(共通). サステナブルな事業活動

- ・ サステナブルな社会を目指す取組み推進

① 財務戦略 ・事業ポートフォリオの見直し ・政策保有株式の縮減 ・資金の効率的運用

② 人事戦略 ・採用方法の検討 ・社内環境の整備 ・後継者の育成 ・シニア人材の活用

③ システム戦略 ・事業会社の基幹業務システム導入 ・社内データの活用推進 ・AIの活用検討

④ IR戦略 ・IR体制の整備 ・IR資料の充実 ・投資家向け説明会の実施

⑤ 品質保証システムの構築 ・品質保証活動の充実および高度化

⑥ サステナビリティ課題への対応 ・マテリアリティ(重要課題)の特定および取組み

⑦ 共通機能の高度化 ・内部監査体制等のグループ共通機能の一体化検討

新「中期経営計画2024」(2024年4月～2027年3月)の目標数値

(億円)	2023年度 (2024年3月期) 【前中計実績】	2024年度 (2025年3月期) 【新中計目標】	2025年度 (2026年3月期) 【新中計目標】	2026年度 (2027年3月期) 【新中計目標】
売上高	3,331	3,350	3,380	3,410
営業利益	31	37	41	43
経常利益	39	37	41	43

(%)	2023年度 (2024年3月期) 【前中計実績】	2026年度 (2027年3月期) 【新中計目標】	
ROE(株主資本利益率)	12.7	8.0	※ROEは、8.0%の水準を維持する
ROIC(投下資本利益率)	4.0	5.0	※ROICは、5.0%の水準を達成する

- ◆ 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置付けています。
- ◆ 配当については、中長期的な経営基盤の強化および成長投資に留意し、従来の「定額を基本とした配当」の考え方から、より積極的で予見しやすい配当方法に転換します。
- ◆ 中長期的な経営基盤の安定強化および成長投資に必要な内部留保の確保に十分留意しつつ連結株主資本配当率(DOE)1.6%を目途に安定的な配当水準を維持することを基本方針とします。
- ◆ 連結株主資本配当率(DOE)は、2025年3月31日を基準日とする配当より適用します。
- ◆ 当社は、中長期的には、株主資本の増加と連結株主資本配当率(DOE)の引き上げによる配当水準の向上を目指します。

連結株主資本配当率(DOE) = 年間配当総額 ÷ 連結株主資本 × 100

当資料の取り扱い上のご注意

- 当資料に掲載されている計画、見通しなどのうち、過去の事実以外は将来に関する見通しであり不確定な要因を含んでおります。
- 実際の業績は、様々な要因により、これら見通しとは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。
- 内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関しては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご承知おきください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。
- 当資料の数値については、端数調整のため、切り上げまたは切り捨てを行っております。

<お問い合わせ先>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪府大阪市福島区野田2丁目13番5号 OUG野田ビル5階

当社ウェブサイト:<https://www.oug.co.jp/>

上記ウェブサイトアクセスいただき、「IRお問い合わせ」フォームよりご連絡ください。